

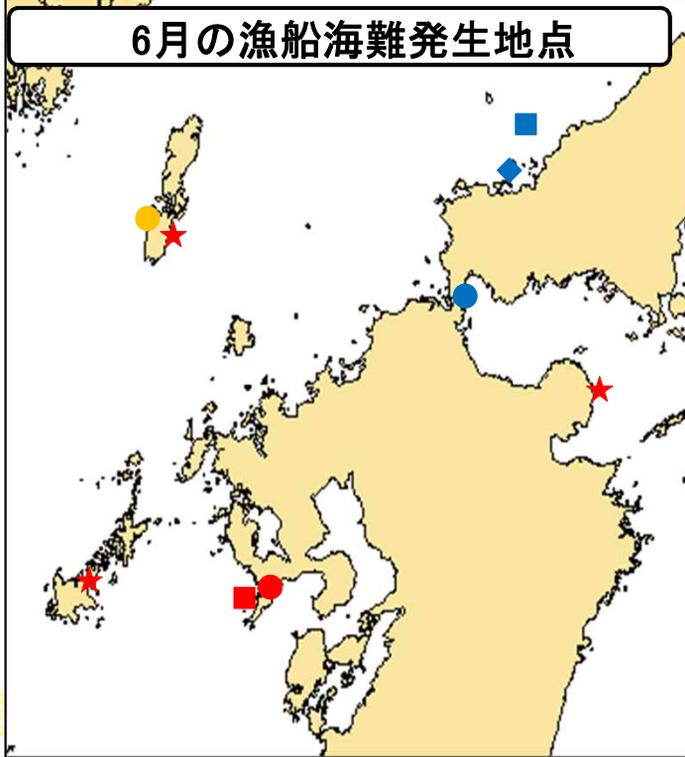
令和3年6月発生
七管内漁船海難 計9隻

令和3年6月累計 55隻 (前年 46隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ 9隻増加

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	3
乗揚	●	1
浸水	●	1
火災	●	1
船体行方不明	■	1
運航不能 (機関取扱不注意)	■	1
運航不能 (有人漂流)	◆	1
合計 9隻 (昨年 15隻)		
死亡、行方不明者: 2件		

	県別内訳	
	6月	令和3年累計
山口県	2	6 (6)
福岡県	1	8 (11)
佐賀県	0	3 (3)
長崎県	5	29 (18)
大分県	1	9 (8)
合計	9隻	55隻 (46隻) ()は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



累計死亡・行方不明者数: 9名 (令和3年6月末日現在)

カヤックやSUP (サップ=スタンドアップパドルボード) に注意

Check point !

マリンレジャーが盛んとなる夏本番になりました。近年、安価にインターネット等で購入出来るSUPやカヤックを使って海上での釣りやツーリングを楽しむ一般の方々が増えています。右側の写真のとおり、SUPは小型の板状のボードの上に人が立ち上がっているだけで構造物はなく、カヤックは着座した状態である等により、非常に見えづらく、小型漁船の死角に入りやすくなっています。衝突防止のため、常時見張りを厳重にするとともに、早め早めの回避動作をとるようにして下さい。



注意 見えにくく、死角に入りやすいので、見張りの徹底をお願いします。